

# エコマネジメント[環境経営の推進]

日立国際電気の企業行動基準と環境保全行動指針に則り、環境マネジメントシステムの構築を柱に環境マインドの醸成に取り組んでいます。

## 日立国際電気環境保全行動指針

[スローガン]

製品・サービスを通じて環境と調和した持続可能な社会を実現するために、当社は製品の全ライフサイクルにおける環境負荷低減を目指したグローバルなものづくりを推進し、地球環境保全に努めることにより社会的責任を果たす。

2010年8月に、環境保全行動指針に生物多様性への取り組みを追加し、改訂しました。

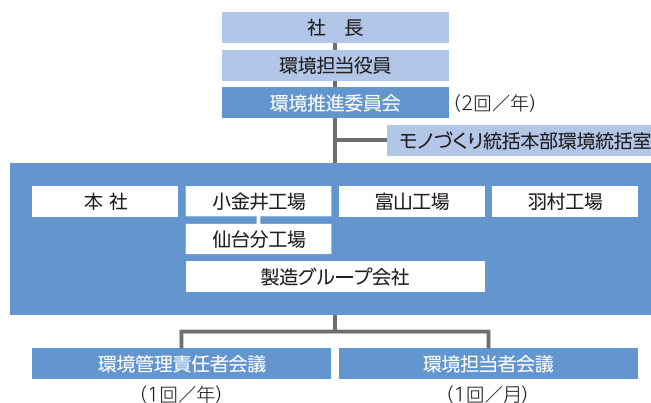
(株)日立国際電気 ホームページ

<http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/environment/earth.html>

または

## 環境管理体制

環境担当役員、各工場長および製造グループ会社※1の環境担当役員で構成する「環境推進委員会」において、当社グループ全体の中長期環境行動計画、年間目標、重点課題を審議、決定し展開しています。モノづくり統括本部環境統括室は、環境推進委員会での決定事項をベースに、推進支援および「環境管理責任者会議」において進捗フォローアップを行います。



※1 製造グループ会社：八木アンテナ(株)、(株)日立国際電気エンジニアリング、(株)五洋電子

## 日立グループの環境に対する取り組み「第3期環境行動計画」

日立グループでは、これまで第1期('00年～'05年)、第2期('06年～'10年)と環境行動計画を立てて活動を行ってきました。2011年度から2015年度までの5年間は、第3期と位置づけて活動を推進していきます。

2008年12月に発表した「環境ビジョン2025」の3本柱である

「地球温暖化の防止」「資源の循環的な利用」「生態系の保全」を達成するために、日立グループのあらゆる製品を環境に配慮した「環境適合製品」にすることをめざしています。

当社グループでは、日立グループの計画を受け、以下に示す当社グループ第3期環境行動計画を策定し、取り組んでいきます。

### ■当社グループ第3期環境行動計画

カテゴリー	主要項目	行動目標	目標値	2011年度	2015年度
環境マインド&グローバル環境経営	環境管理システムの構築	環境活動レベルの向上 (GP:グリーンポイント)	GREEN21-2015のGP	384 GP	640 GP
	環境リテラシーの醸成	環境eラーニングによる 環境マインド醸成	受講率	90%	95%
次世代製品とサービスの提供	エコプロダクツの推進	環境適合製品の拡大	環境適合製品売上高比率	60%	65%
環境に高いレベルで配慮した工場とオフィス	地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> 排出原単位改善	生産高CO <sub>2</sub> 排出量原単位削減 (基準年度2005年)	4%増加	10%
	輸送時のエネルギー削減	輸送エネルギー原単位改善	生産高輸送エネルギー原単位削減 (基準年度2006年)	12%	15%
	資源の有効活用	廃棄物等発生量原単位改善	生産高廃棄物等発生量原単位の削減率 (基準年度2005年)	16%	20%
		電子マニフェスト推進	登録(交付)率の向上	70%	90%以上

## 2010年度環境活動目標と実績

	主要項目	2010年度目標	2010年度実績	評価
エコマネジメント	統合環境マネジメントシステム構築・展開	統合環境マネジメントシステム 認証継続	統合環境マネジメントシステム 認証継続	🌳🌳🌳
	環境eラーニングの受講促進	受講率 90%	受講率 96%	🌳🌳🌳
	環境に配慮した事務用品等の 商品の購入を推進	グリーン購入比率90%	グリーン購入比率94%	🌳🌳🌳
エコプロダクツ	環境適合製品の拡大	環境適合製品売上高比率 57%	環境適合製品売上高比率 62%	🌳🌳🌳
	製品環境効率向上	スーパー環境適合製品登録比率 15%	スーパー環境適合製品登録比率 36%	🌳🌳🌳
エコファクトリー	地球温暖化防止	実質生産高*2CO2原単位35%削減 (1990年度比)	実質生産高CO2原単位45%削減 (1990年度比)	🌳🌳🌳
		実質生産高輸送エネルギー 原単位11%削減 (2006年度比)	実質生産高輸送エネルギー 原単位25%削減 (2006年度比)	🌳🌳🌳
	廃棄物削減	最終処分量 90%削減 (1998年度比)	最終処分量 99%削減 (1998年度比)	🌳🌳🌳
		最終処分率 1%以下	最終処分率 0.5%	🌳🌳🌳
	化学物質管理	「削減物質」排出量 40%削減 (2000年度比)	「削減物質」排出量 57%削減 (2000年度比)	🌳🌳🌳

※2 実質生産高:名目生産高÷日銀国内企業物価指数(電気機器)

評価基準 🌳🌳🌳:達成 🌳🌳:達成率80%以上 🌳:達成率80%未満

## 事業活動と環境負荷

当社グループでは、事業活動を行う上で、資源やエネルギーを投入(Input)し製品を提供しています。一方、事業活動では、CO2や廃棄物を排出(Output)しています。当社および製造グループ会社では、これらの投入量や排出量を把握し、有害化学物

質の削減やエネルギー効率の向上に努めています。なお、原材料の調達段階および製品の環境負荷削減については、それぞれ「お取引先様とともに」のページおよび「エコプロダクツ」のページで紹介しています。



※3 PRTR:Pollutant Release and Transfer Register(環境汚染物質排出・移動登録)

※4 法律改正により対象物質に変更があり、前年比は算出していません

( )内は2009年度比を示します